

ガーデン・ツーリズム登録制度
令和5年度登録計画事業実施報告

森の京都ガーデンツーリズム



～森と里山の庭めぐり～

森の京都ガーデンツーリズム協議会
令和6年3月

○具体的な事業の実施状況

1 情報発信事業

（１）ウェブページ開設



実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和5年6月～

森の京都DMOのホームページにおいて、森の京都ガーデンツーリズム専用のウェブページを開設した。令和6年1月には大幅な改修を行い、計画のコンセプト説明や構成庭園マップなどのほか、庭園の周遊にあわせて楽しめる「森の京都の魅力」についても掲載している。

森の京都ガーデンツーリズムのウェブページ
<https://morinokyoto.jp/gardentourism/>



(2) ウェブページによる情報発信



森の京都ガーデンツーリズム
—— 森と里山の庭めぐり ——

[森の京都ガーデンツーリズムとは](#)[News](#)[構成庭園](#)[森の京都の魅力](#)



News



24/03/21 桜まつり開催



24/03/15 2024 京都・亀岡 さくらウィーク開催



24/03/12 水源の里・市志 ミツマタウォーキング参加者募集



24/03/12 ミツマタ・シャガ群生地で休憩所「花やどり」開設



24/02/22 2026年秋に「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」が開催決定



24/02/20 TANTAN SATOYAMA KYOTO & Super Relax Stay

1 2

[HOME](#) — [News](#)



森の京都
ガーデンツーリズム
—— 森と里山の庭めぐり ——

森の京都ガーデンツーリズム協議会
一般社団法人 森の京都地域振興社(森の京都DMO)
〒621-0804 京都府亀岡市追分町谷筋25番地30
[お問い合わせはこちら](#)

[森の京都webサイトへ](#)

2024 © 森の京都

実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和6年1月～

森の京都ガーデンツーリズムのウェブページにおいて、新たにお知らせページを設け、構成庭園や緑化関係のイベントなどについて、積極的な情報発信を行っている。

(3) インスタグラム投稿



実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和5年6月～

森の京都DMOのInstagramアカウントで、構成庭園や季節の花の見どころなどについて、「#森の京都ガーデンツーリズム」というタグを活用し、随時投稿している。

(4) のぼり掲出



実施主体：森の京都DMO、構成庭園、観光協会

実施時期：令和6年3月～

森の京都ガーデンツーリズムののぼりを構成庭園や観光協会で掲出している。多くの人の目に触れることで、森の京都ガーデンツーリズムの認知度向上を図る。

(5) 木製オブジェ設置



実施主体：森の京都DMO、構成庭園、観光協会、市町

実施時期：令和6年3月～

森の京都ガーデンツーリズムの木製オブジェを構成庭園のほか、関係する観光協会と市町に設置した。地域の工務店と木工房の協力で作成した本品は、木の葉を模した木製のもので、木の葉部分はスギ、台座部分はヒノキと、どちらも国内産の木材を使用している。

木材の自然の風合いを活かし、森の京都ガーデンツーリズムのブランドイメージを体現したオブジェである。台座部分には、ウェブページにアクセスすることができるQRコードとガーデン・ツーリズムの簡単な説明を刻印している。

(6) ロールバナー作成



実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和6年3月～

(公財)都市緑化機構で作成いただいたタペストリーをもとに、計画のコンセプトなどを追記し、ロールバナーを作成した。森の京都DMOが出展するイベントなどで設置し、森の京都ガーデンツーリズムの認知度向上を図る。

(7) しおり作成

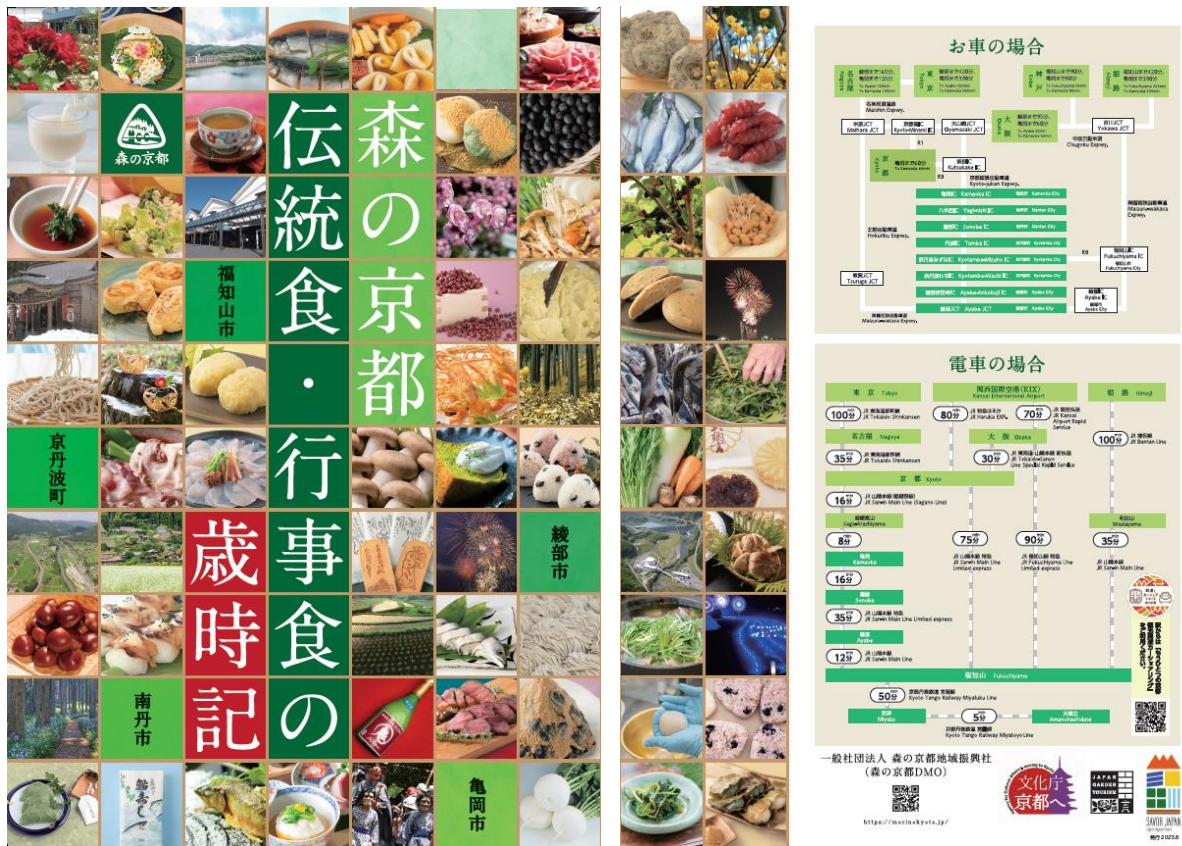


実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和5年4月～

構成庭園であるシャガ・ミツマタ群生地や季節の花の見どころの写真を使用し、しおりを作成した。裏面は二次交通のアクセス手段として、カーシェアリングをPRしたものであり、森の京都DMOが出展するイベントなどで配布している。

(8)「森の京都 伝統食・行事食の歳時記」へのJGTロゴ掲載



実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和5年8月～

森の京都ガーデンツーリズムは、構成庭園の周遊とともに豊かな食もあわせてPRしていることから、森の京都DMOが発行する冊子「森の京都 伝統食・行事食の歳時記」の裏表紙において、ジャパングーデンツーリズムのロゴを掲載した。同冊子の掲載内容は、令和6年1月に改修した森の京都ガーデンツーリズムのウェブページからも閲覧することができる。

○その他特筆すべき取組と成果

(1) 第40回全国都市緑化仙台フェアにおけるガーデンツーリズム登録証交付式での取組発表

未来の杜さんだい2023 シンポジウム
「未来につなぐ新しい杜の都の姿」

参加無料 抽選500名
2023年6月10日 14:00~16:30
トークネットホール仙台 (仙台市民会館) 大ホール
〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1

基調講演
テーマ「未来につなぐ新しい杜の都の姿」
講師/潘井 史郎氏 東京都市大学特別教授
震災や震災からの復興にあたり「みどり」が果たしてきた役割や、自然環境を踏まえ「杜の都・仙台」のまちづくりの歩みや特色など、幅広い視野からご講演いただきます。

トークセッション
テーマ「杜の都・仙台のみどりの恵みと魅力」
私たちの生活に豊かさをもたらすみどりの力や、屋外空間での新たなライフスタイルなどをテーマに、各界で活躍する方々をお迎えしてトークセッションを行います。

ガーデンツーリズム登録証交付式
日本にはその魅力を十分に伝えきれていない「隠れた名園・花の名園」が数多くあります。ガーデンツーリズムとは、地域の活性化と観光文化の普及を図るため各地域の種々の園地の活用により、魅力的な体験や交流を創出する取り組みです。

お申し込み
往復はがきにて住所・氏名(フリガナ)・電話番号・参加人数を記入して5月31日までに郵送ください。ホームページ(<https://sendai-fairgreen.jp/>)の申し込みフォームからも申し込み可能です。



実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和5年6月

令和5年6月10日に宮城県仙台市で開催された第40回全国都市緑化仙台フェアにおける「未来の杜さんだい2023シンポジウム」内のガーデンツーリズム登録証交付式において、森の京都ガーデンツーリズムの取組を発表した。一般の方も参加可能なシンポジウムであり、全国都市緑化フェア内での開催であることから、森の京都ガーデンツーリズムを広くPRすることができた。

(2) JHBS会誌「ハンギングバスケット」への掲載



② 蓮々荘庭園 ③ 穴太寺前庭 ④ ひがし花の里
⑤ 千手寺 ⑥ 寶来八幡宮 ⑦ 美山かやぶきの里
⑧ シャガ・ミツマタ群生地 ⑨ 元伊勢内宮皇大神社

森の京都ガーデンツーリズム
ウェブサイト
<https://mkyoto.jp/gardentourism/>

森の京都ガーデンツーリズムを構成する
森と里山の庭園

美しい自然に囲まれた神社仏閣の境内を「森の庭園」、日本の原風景たる美しい里山を「里山の庭園」とする新たなコンセプトで10庭園を演出しています。
※緑色の番号は「森の庭園」、黄色の番号は「里山の庭園」を指します。

- 1 京都府立保津峡自然公園 京都府立保津峡自然公園は、豊かな自然環境を有する。豊かな自然環境を有する。豊かな自然環境を有する。
- 2 蓮々荘庭園 七代目川島石園が保津峡の美しい自然を再現した。池泉回遊式が特徴的。建物から石園のように美しく保たれた庭園は、見る人に心を癒やす効果がある。庭園の豊かな自然環境を再現している。
- 3 穴太寺前庭 西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。穴太寺前庭は、西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。
- 4 ひがし花の里 内部の山を庭園として、庭に立つて楽しむ。庭に立つて楽しむ。庭に立つて楽しむ。
- 5 千手寺 美しい山を庭園として、庭に立つて楽しむ。庭に立つて楽しむ。庭に立つて楽しむ。
- 6 寶来八幡宮 宝来八幡宮は、西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。
- 7 美山かやぶきの里 美山かやぶきの里は、西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。
- 8 シャガ・ミツマタ群生地 シャガ・ミツマタ群生地は、西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。
- 9 元伊勢内宮皇大神社 元伊勢内宮皇大神社は、西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。
- 10 森の京都ガーデンツーリズム 森の京都ガーデンツーリズムは、西暦三十三年創建の21基の石塔が並ぶ。寺の中心部を占める。

ガーデンツーリズム

最終回

森の京都 ガーデンツーリズム ～森と里山の庭めぐり～

森の京都ガーデンツーリズム協議会 事務局
(一社) 森の京都地域振興社
主任 浅田瑞木

森の京都は、京都府の北部に位置する6市町(亀岡市・南丹市・京丹波町・福知山市・膳所市・京都市)に及ぶ地域です。山河の恵みを受け、豊かな森とともに発展してきた森の京都は、国民観光都市である京都府と一体的なまちづくりの京都府。山から湧き出す清らかな水と肥沃な大地は、古くから活の都の繁栄を支え、長い年月をかけて人々の暮らしと地域文化を育んできました。森の京都の深い森の中には、信仰を深めるために古くから神社仏閣が建立され、農村の豊かな生活を彷彿とさせる里山には、美しい日本の原風景と森の恵みを受けて生きる人々の姿があります。

森の京都ガーデンツーリズム 「森と里山の庭めぐり」

森の京都には、かつて京都府が存在していた。江戸時代中期に出版された諸国名乗考という書籍によると、丹波川の右岸に、石塔は数あるべしとあり、これは広く平らな場所を指している。森の京都の玄関口である同市の森のテラスでは眼下に水田が広がる。まさに田の庭園というべきでしょう。この地の由来である田記から着想を得て、深緑に囲まれた神社仏閣の境内こそ美しい「森の庭園」であり、日本の原風景である里山こそ美しい「里山の庭園」として紹介しています。

山は庭園だと考え、「森と里山の庭園」という新しい庭園の姿方を提案しています。森と里山の恵みである食と、古くから受け継がれてきた文化。

さまざまな農産物が生産されている森の京都は、京都府内産品、丹波黒をはじめ、様々な食材に富み、古くからその実質を支えています。現代では、京都府内産品、丹波黒をはじめ、様々な食材に富み、古くからその実質を支えています。現代では、京都府内産品、丹波黒をはじめ、様々な食材に富み、古くからその実質を支えています。

また、森の京都には、京都府内産品、丹波黒をはじめ、様々な食材に富み、古くからその実質を支えています。現代では、京都府内産品、丹波黒をはじめ、様々な食材に富み、古くからその実質を支えています。

実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和6年1月

国土交通省からのご紹介で一般社団法人日本ハンギングバスケット協会の会誌「ハンギングバスケットNo.99」に森の京都ガーデンツーリズムを掲載した。ハンギングバスケットの協会員というガーデンへの関心が高い層に森の京都ガーデンツーリズムを広くPRすることができた。

(3) 全国都市緑化フェア i n 京都丹波推進協議会との連携



実施主体：森の京都DMO

実施時期：令和5年4月～

令和8年秋に開催が決定した「第43回全国都市緑化フェア i n 京都丹波」について、開催決定前の段階から全国都市緑化フェア i n 京都丹波推進協議会と密に連携し、開催に向けた基本構想懇談会にも参加していた。同フェアの開催にあたり、今後も積極的に連携していく。

○まとめ

1 全体を通しての効果や成果

令和5年6月に近畿地方で2番目のガーデン・ツーリズム制度の登録となり、初年度の事業であることから、ウェブページの開設や広報宣伝用品の作成など、基礎となるような事業に取り組んだ。統一したデザインの広報宣伝用品を配布することにより、事務局である森の京都DMOを中心として、構成庭園や観光協会、市町との協力体制をより強固にし、ガーデン・ツーリズムの本格的な始動に向けた機運を醸成することができた。

2 今後の取組

構成庭園へのアクセス案内やモデルルートの設定など、開設したウェブページのさらなる拡充を図るとともに、イベント情報のお知らせやインスタグラムの投稿といった情報発信により一層力を入れていきたい。また、当初予定していた事業のうち、インバウンドへのPRについて、例年参加している関西観光本部主催の台湾大商談会に向けて、効果的なPRができるようアプローチ方法を検討し、準備を行っていく。